

To support future

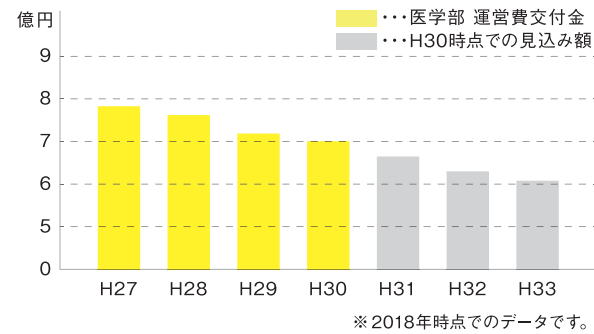
阪大医学部の未来

大阪大学医学部が目指すのは、世界の医学・医療をリードし、先進的な医療の開発を推進する創造性豊かな医師・医学研究者の育成です。そのために展開する多彩な教育事業や国際交流事業、また講義室の改修をはじめとする教育環境の整備は、皆様からのご寄附に支えられています。



阪大医学部の未来と運営費交付金

医学という学問の特性上、学部の運営には多額の経費が欠かせません。しかし、学部の運営に不可欠な国からの運営交付金は、2004年の法人化以来減少の一途を辿っており、非常に苦しい状況です。本学のさらなる教育・研究の発展のため、皆様のご協力をご支援をお願いいたします。



未来基金 医学系研究科・医学部教育研究事業にご寄附いただいたみなさまへ

ご寄附いただくと税制上の優遇措置を受けられるほか、本学よりささやかながら感謝の気持ちを示させていただきます。

感謝状の贈呈

ご寄附をいただいた皆さまに感謝の心を込めて、大阪大学総長から感謝状を贈呈します。

ご芳名掲載

「大阪大学未来基金」webサイト内の「WEB芳名帳」にご寄附いただいた皆さまのご芳名を掲載します。

※公表を希望しない方については掲載いたしません。

「大阪大学感謝の集い」ご招待

一定額以上のご寄附をいただいた皆さまを、大阪大学総長が主宰する「大阪大学感謝の集い」にご招待させていただきます。

顕彰プレート

累計50万円以上のご寄附をいただいた皆さまには、ご芳名をプレートに記し、大阪大学中之島センター及び大阪大学会館に掲示させていただきます。

- 5,000万円以上…プラチナ
- 3,000万円以上★★★★
- 1,000万円以上★★★
- 500万円以上★★
- …ゴールド
- 100万円以上…シルバー
- 50万円以上…ブロンズ



税制上の優遇措置

大阪大学へのご寄附につきましては、確定申告を行うことにより、税制上の優遇措置が適用されます。別途お送りする「寄附金領収証書」を添えて、所轄税務署に確定申告してください。

- | | |
|--|---|
| 個人の皆さま | 法人の皆さま |
| <input checked="" type="checkbox"/> 所得税の軽減 | <input checked="" type="checkbox"/> 法人税法第37条第3項第2号により、寄附金の全額を損金算入することができます。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 住民税の軽減 | |

※住民税の軽減適用地域等、詳しくはwebサイトよりご確認ください。

未来基金へのご寄附方法

ご寄附についてはクレジットカード、銀行振込、コンビニ払いがご利用いただけます。詳しくはwebサイトより、お申込み方法をご確認ください。

アクセスはこちらから！
大阪大学 未来基金 検索
<https://www.miraiikin.osaka-u.ac.jp>



寄附金に関するお問合せ

TEL. 06-6879-8327

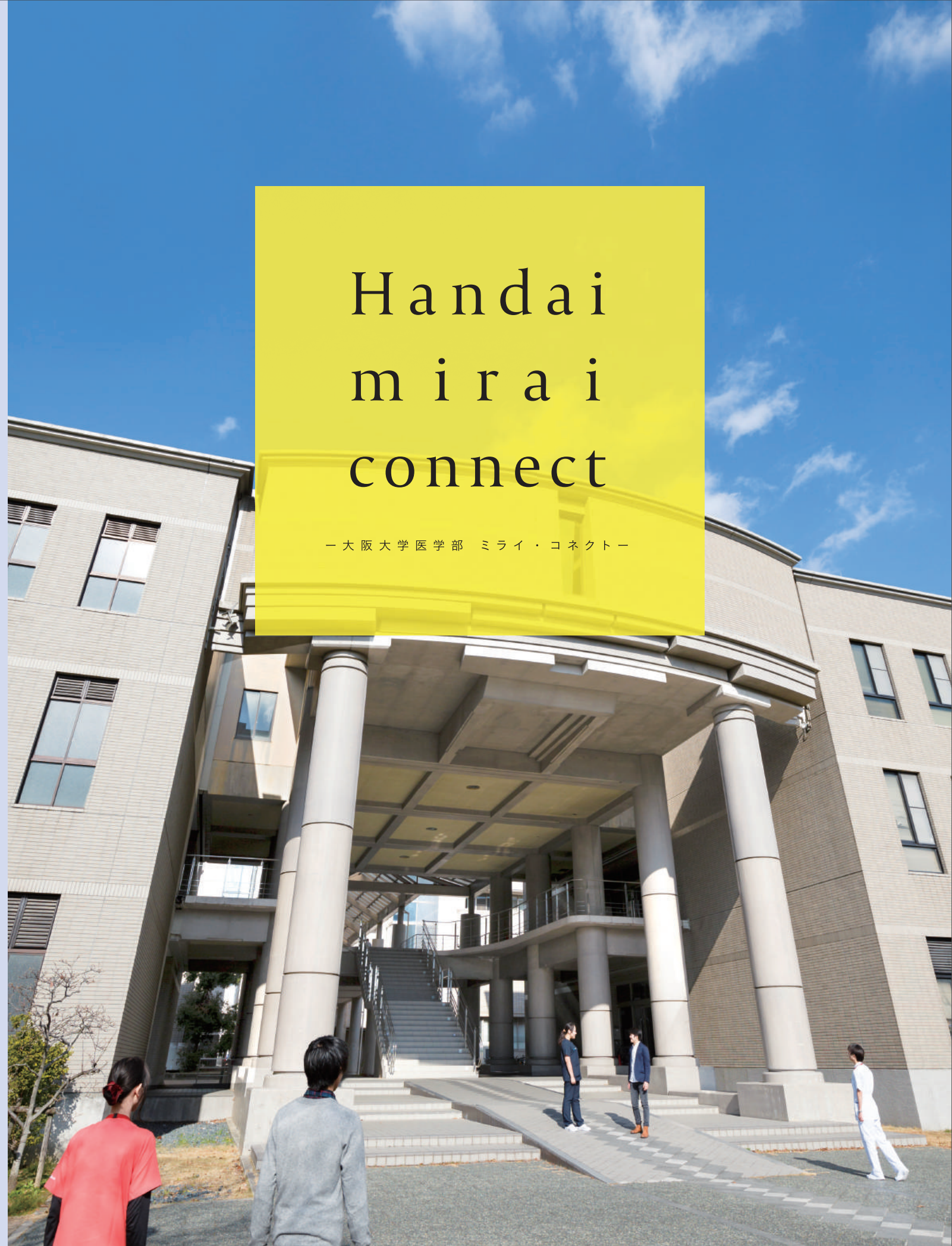
大阪大学 共創機構渉外本部 未来基金事務局
Email / kikin@office.osaka-u.ac.jp

広報誌に関するお問合せ

TEL. 06-6879-5111

大阪大学 大学院医学系研究科・医学部
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2

医学部HP: <http://www.med.osaka-u.ac.jp/>



医学部長挨拶

社会との協調が 新しい知を生み出す

大阪大学は、1931年に創設された旧帝国大学です。その大きな特徴は、民間の力によって誕生した大学であるということ。当時の人々の想いは、大学と社会との結びつきを重んじるイノベティブな学風として、現在の大阪大学医学部にも受け継がれています。本学ではこれまで、病院との連携強化や著名な研究者によるセミナーの開催といった取り組みを通して、意欲ある若い人材を育成してきました。また、新しいアイデアを社会の中で育てていくためのシステムも整いつつあります。皆様におかれましては、常に社会との協調を目指す本学の取り組みにご期待いただき、ぜひご支援を賜りますようお願い申し上げます。

医学部長 森井 英一

阪大医学部の精神 ～緒方洪庵と適塾～

大阪大学大学院医学系研究科・医学部の精神的源流は、幕末の蘭学者・緒方洪庵が開いた適塾にあります。自由闊達でイノベティブ、さらに人材育成に熱心であった洪庵の精神を受け継ぎ、わが国の医学医療の発展と社会貢献に努めてきました。これからも日本、ひいては世界のリーダーとして、医学、研究、教育を牽引していきます。



学生インタビュー

基礎研究や海外留学など、本学ではさまざまな学びの場を用意しています。特徴的なプログラムに参加した学生に、話を聞きました。

MD研究者育成プログラム

基礎研究と臨床との深い繋がりを実感

1年のときからMD研究者育成プログラムに参加し、がんを研究する医学講座で学んでいます。基礎研究に加え、附属病院の手術で摘出したがん細胞の検査をすることもあり、研究と臨床が深く結びついていることを知りました。研究のおもしろさは、これまでわからなかったことを明らかにしていけるというところ。医学研究の最先端に立ち会っていることを実感します。

大井 遼さん
医学部 医学科 4年生

海外臨床実験

海外の学生から学んだ積極性の大切さ

キングス・カレッジ・ロンドン医学部の循環器内科に4週間、国立台湾大学の総合内科に3週間留学しました。現地では主に診察や問診を経験。英語力が向上したのはもちろん、日本の医療との違いを自分の目で確かめることができました。また、海外の学生と交流できたのも貴重な体験。勉強熱心で好奇心旺盛な学生が多く、積極的に学ぶことの大切さを教えられました。

福田 優人さん
医学部 医学科 6年生

阪大医学部の特徴

本学の教育目標は、国際的な視野を持ち、指導者として活躍できる医師・研究者を養成することです。そのために、充実した教育環境を整えています。

point 01 研究者の育成

基礎医学講座配属

医学研究者の育成をミッションのひとつとする本学では、学内外の基礎医学研究室に一定期間所属して研究を行う「基礎医学講座配属」を必修科目としています。約50年前に、本学が日本で初めて導入した伝統ある科目です。研究者の道を考えている学生はもちろん、臨床医を目指す学生にとっても、研究のおもしろさや社会的意義を体験できる重要な機会になっています。



MD研究者育成プログラム

学生は1年次から希望する研究室で基礎医学研究に参加することができます。医学部のみならず、免疫学フロンティア研究センターや微生物病研究所、蛋白質研究所など、さまざまな施設での研究が可能。また、東京大学、京都大学、名古屋大学との「4大学合同リトリート」も定期的を実施しています。

学生へのサポート

- ☑ 学内研究発表会 ☑ 4大学合同リトリート
- ☑ 国内外の学会参加、短期留学の補助 ☑ 単位の付与

プログラムの
成果について

学術論文
掲載数 **9報** 学会発表 **10件**
筆頭著者論文3報、
共著論文6報 国内7件、海外3件

point 02 医学教育の国際化

医学英語教育

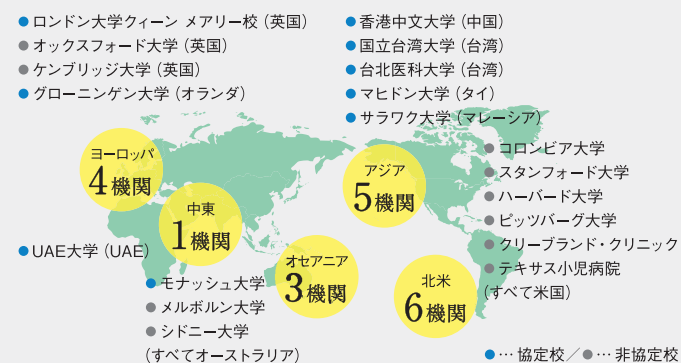
急速にグローバルが進む現状を踏まえ、2～4年次での医学英語を必修科目に設定。海外学会での発表・討論や、海外からの患者さんに対して英語での診察が行えるレベルを到達目標としています。

海外留学

海外の大学や医療機関において、数週間にわたり研究や臨床実習を行う海外留学制度。制度や文化の異なる医療機関に一定期間身を置くことにより、日本の医療機関を客観視する目が養われ、その特徴をより深く理解できるようになります。また、国際的に活躍することを旨とする学生にとっては、現時点での自分に何が足りないかを知り、今後の計画を立てることができる絶好の機会。交流した現地の学生たちの語学力の高さや真摯に学ぶ姿勢に刺激を受ける学生も多いようです。

主な海外留学先

世界各地の大学や医療機関と協定を結んでいるため、多くの学生が希望する進路に適した留学先を選択可能です。5年生だけでも、約40名が海外での臨床留学を経験します。協定校のほか、スタンフォード大学、ハーバード大学、オックスフォード大学などへの留学実績があります。



point 03 臨床医学教育の充実

最後の2年間は、実際に臨床の現場で患者さんと接する臨床実習です。臨床実習は大阪大学医学部附属病院と学外の関連病院で行うため、双方の特徴ある臨床知識と技術が身につきます。臓器移植や再生医療などの最先端の医療の現場である医学部附属病院に対して、関連病院で扱うのは有病率の高い疾患(コモンディーズ)が中心。京阪神地域には質の高い関連病院が集中しており、学生は豊富な選択肢の中から実習先を選ぶことができます。

